

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		誘客連携による地域活性化事業				②事業番号		7619					
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		令和 2 年度		⑤終了予定年度		令和 4年度		設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱		○ 計画等		○ その他	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他			
⑧関連予算科目コード		款		9		項		5		目		10	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		細目		6		会計	
												一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市内所在の歴史的建造物		① 事業対象となった市内の歴史的建造物		件	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
歴史的建造物を地域の魅力として発信し誘客促進につなげる。		① 事業で紹介した歴史的建造物の件数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
歴史的建造物を地域独自の魅力として発信(＝掲載された媒体の発行部数)することで誘客促進を図る。		① 掲載された媒体の発行部数		部	
		① 計算式			
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
文化財の活用による収益機会の多面化をすすめることで、今後の社会変化にも対応しうる持続可能な文化財保護意識の醸成が見込まれる。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
(1— 5— 1— 2):文化財の保存と活用につながる。		施策大(節) 5 まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします			
		施策中 1 歴史的資産の活用			
		施策小 3 歴史的環境に触れる場と機会の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	事業対象となった市内の歴史的建造物	件			6	30	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	事業で紹介した歴史的建造物の件数	件			15	48	—	
活動指標②								
活動指標③								—
成果指標①	掲載された媒体の発行部数	部			986,870	1,000,000	—	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人			0.16	0.16		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人			0.00	0.00		
	任期付職員	人			0.00	0.00		
	臨時職員	人			0.00	0.00		
	事業費	千円			1,221	1,221		
財源内訳	人件費(投入人員×単価)	千円			1,400	1,400		—
	直接事業費	千円			2,621	2,621		
	総事業費	千円			700	700		
	国庫支出金	千円			0	0		
	府支出金	千円			0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円			700	700		—
	その他特定財源	千円			1,221	1,221		
	一般財源	千円						

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	文化財を活用した誘客事業を促進させることで、文化財所有者等の収益機会を増やし、文化財の確実な継承につなげるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	コロナ禍でも目的達成のための新たな手段を獲得することができた。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

評価項目	評価及び理由・説明等
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない 文化財所有者からは事業継続の要望がある。

〔2〕有効性

A.高い

B. やや高い

C. やや低い

D.低い

〔2〕の評価

B

②期待どおりの成果が得られていますか。	イ. ある程度 ウ. ない	事業運用後に、誘客促進の効果が確認できている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	事業内容の厚みを持たせることと、連携事業者への参画を促すことで、実績を伸ばすことは可能。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	文化財に特化した事業内容がないため。

〔3〕効率性

A.高い

B. やや高い

C. やや低い

D.低い

〔3〕の評価

B

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	現在の委託内容の見直しは、成果品の低質化につながるため。
--	------------------------	-------------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	事業実施の受け皿となる団体の育成。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など	事業実施の受け皿となる団体に引き継ぐ。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	事業内容を厚みを持たせ、魅力ある観光プランに仕上げることで、より多くの連携事業者の参画を促す。			